

平成26年度第1回 利益相反マネジメント委員会報告書

1, 日時：平成26年4月24日（木）午後3時～午後3時20分

2, 場所：第1会議室

3, 委員の出席状況

	職 名	氏 名	出 欠
委員長	がんセンター副院長	小野寺 博 義	出 席
委 員	東北大学医工学研究科教授	川 瀬 哲 明	出 席
委 員	がんセンター病院事務局長	佐 藤 純	出 席

4, 議事（主要な点は次のとおり）

(1) 自己申告書審査

- ・申告書を1件毎に審査した。

申告者名・研究題目等は別添「自己申告書審査一覧」のとおり

- ・様式1のみの審査・・・・・・・・・・・・・・・・・・10名：全件承認

- ・様式1及び2の審査・・・・・・・・・・・・・・・・・・13名：全件承認

意見1：様式1のみの自己申告書については、特に問題ないので承認で良い。

意見2：様式1及び2のうちID：26-3関係の8名については、民間会社から研究に使用する薬剤の提供を受けることとその会社にウイルス検出を依頼するものである。特に問題となる点はない。

そのほかの様式1及び2は、治験・受託研究関連であり当センター受入れであり問題ない。

意見3：主任研究者か分担研究者かの未記入が相変わらず多い。また、今回は記名した場合の押印漏れがある。

○押印漏れについては、事務担当者が後日申告者に押印して貰うこととする。

○来月初旬に新システムへの移行が行われるので、新システムに移行したら記載漏れ等がなくなるような申告書の様式・記入方法に変更する。

意見4：研究者が自己申告書に記載する金額（当該研究に係る企業等から過去1年間に受け入れた金額）について、事務局企画総務課に問い合わせれば分かる体制になっている。

○今回の申告書提出に当って研究者から照会があったと聞いている。

(2) その他

①厚生労働科学研究費における倫理審査及び利益相反の管理の状況に関する

報告について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料1

- ・資料1は厚生労働省のホームページに掲載されていたものである。
- ・通知文書が来ていないので詳細は不明であるが、研究における不正等が多発していることからこのような措置がとられたものと推測される。
- ・直接的に当委員会が対応する事案ではないが、厚生労働科学研究費に係る自己申告書が提出され、それを審査するということになると思われる。

②平成26年度研修会について

- ・平成25・26年度は三者共催で開催したが、内容的に無理があるとの意見がある。
- ・現在、臨床研究・疫学研究に関する倫理指針の見直し作業が行われているので改正の動きを見ながら開催時期を検討するが11月までには開催したい。
- ・当委員会単独開催又は倫理審査委員会との共催の方向で検討する。

③次回開催日について

- ・7/1・7/2・7/3（午前中）・6/30 の優先順位で調整する。